

かれて愈々八月十九日に結成大會を擧げることになった。製鐵所には、さきに労働組合會議を脱退した神野信一君の日本主義労働組合運動と稱する健全なる労働組合運動に反する流行的腐敗運動が蠢動してゐるが、その實力は到底問題にするに足らぬと思ふが製鐵産業の重要性に鑑みかゝる浮薄なる流行性運動に依つて従業員の結束を分散せざるよう本會議は協力して眞に強力なる製鐵所の單一労働組合を結成させたいと思ふ。

△日本労働組合本部報告

本部の諸報告は既に機關紙に依つて了承の事と思ふので質問に依つて報告したいと思ふ。
△全日本港灣従業員組合の單一組織の件 (附加報告 久保田長一郎)

港灣従業員聯盟が愈々單一組合となつてその結成大會が九月中旬に行はれることに七月二十日の委員會で決定した。

議案

一、日本労働組合會議地方協議會準則適用の件

組合會議本部へ申請して正式準則の送達を受け成文の件は書記局へ一任して次回委員會に於て決定する。直接當面の事務所理のため次項の準則を適用す。

イ、名稱を日本労働組合會議九州地方協議會と改稱す

ロ、九州地方協議會常任委員(準則第四條に依る)を書記長伊藤卯四郎君とす。(以上確定)

一、加盟費増額の件 (可決確定)

加盟費を左の如く増額す

一、海員組合 四圓 一、海友同志會 二圓

一、海員協會 二圓 一、總同盟九州聯合會 三圓

一、官業労働同志會 一圓五十錢 一、日本製鐵聯合會 一圓五十錢

一、委員補充の件

轉任、逝去なぞに依り欠員中の委員を左の如く補充す。(可決)

飯島林太郎君 杉山善太郎君

一、定期會議開催の件

原則として三ヶ月に一回協議會を開催し、必要に應じて委員長臨時之を召集する。(可決確定)

閉會 久保田委員長より協議の勞を謝して散會

第三回委員會

一、日時 十月二十六日午後七時 一、會場 戸畑市清水町四 海員ホーム

一、出席者 久保田、伊藤、白木、土田、飯島、岡田、叶、江田、石見、増原、嶺 (記録 奥村)

一、開會 一、報告 議長 久保田 長一郎

一、議案 日本労働組合會議第二回年度大會報告 伊藤卯四郎

一、年度大會開催に關する件

イ、十一月十三日午後六時より門司海員ホームにて第二回年度大會を開催し、加盟費一圓に就き五名宛の代議員を出席せしむる。

ロ、大會費用として二十五圓を支出し、大會報告書二百部を印刷する。

ハ、大會準備委員に飯島、白木、増原、黒木、奥村を選任し準備委員長を飯島とす。

ニ、役員詮衡委員に白木、土田、増原、木下、嶺を選任し役員詮衡委員長を土田とし、大會當日までに新役員を詮衡せしめる。

ホ、大會提出議案は加盟各團體より一議案宛を提出し、準備委員會に於て整理する。

一、小倉革正會へ加盟勧告の件